

No.	14-4-1	場所	松川町	次世代への継承キーワード
名称	間沢川が押し出した土砂			早期避難 / 避難行動
災害現象	土砂流出			河川 間沢川
補足事項				支流

諏訪市  
岡谷市  
辰野町  
箕輪町  
南箕輪村  
伊那市  
高遠町  
長谷村  
宮田村  
駒ヶ根市  
飯島町  
中川村  
大鹿村  
**松川町**  
高森町  
豊丘村  
喬木村  
上村  
飯田市  
南信濃村  
清内路村  
阿智村  
浪合村  
平谷村  
下條村  
阿南町  
売木村  
天龍村

概要

松川町生田地区の斜面は、風化すると砂状になりやすい花崗岩からできている。降り続く雨により、いたるところで斜面が崩れ落ち、屋根筋の集落を残して被害は全域に広がった。間沢川、寺沢川、福沢川に流れ込んだ土砂は谷沿いの水田を呑み込み、大きな土石流となって、下流の福与地域をはじめ、天竜川沿いの集落に大きな打撃を与えた。

●体験談：△△

二十七日未明から山腹は崩壊し無残な爪跡を残した。この時の高音、まさに雷が落ちる様なすさまじい音がなり響いた。山の窪を押し流す土砂と流木の姿は一生忘れることは出来ない。間沢川を流れる流木、石の音等濁流の響きが耳からとれない。又、父より水田の見廻りに付いて指導してくれ、おっかなびっくり水田の見廻りに出て行く。**田圃の水が深水になり、稲が何処に在るか分からない状態であった。土砂と水で押し流されて手の付けようもない水田もあり、ややけて高台に登って家に戻ってきた。こんな洞を歩いていて山の下敷きになっては大変と、急いで家に戻ってきた。**

（「三六災害の思い出—松川町史学会」より）

記録



間沢川が押し出した土砂

出典 「松川町史 第1巻」p.338/「三六災害の思い出—松川町史学会」 p.26

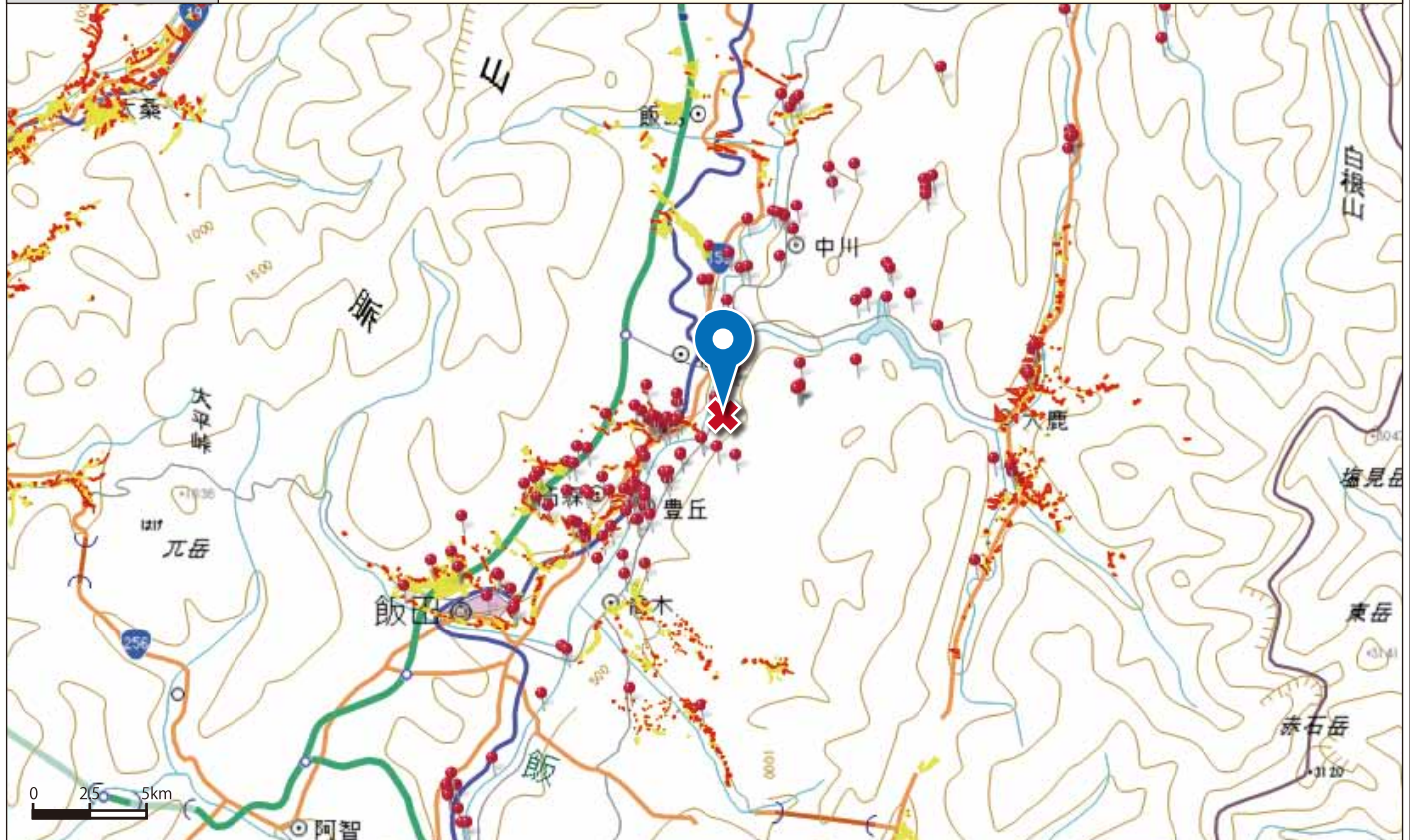
備考



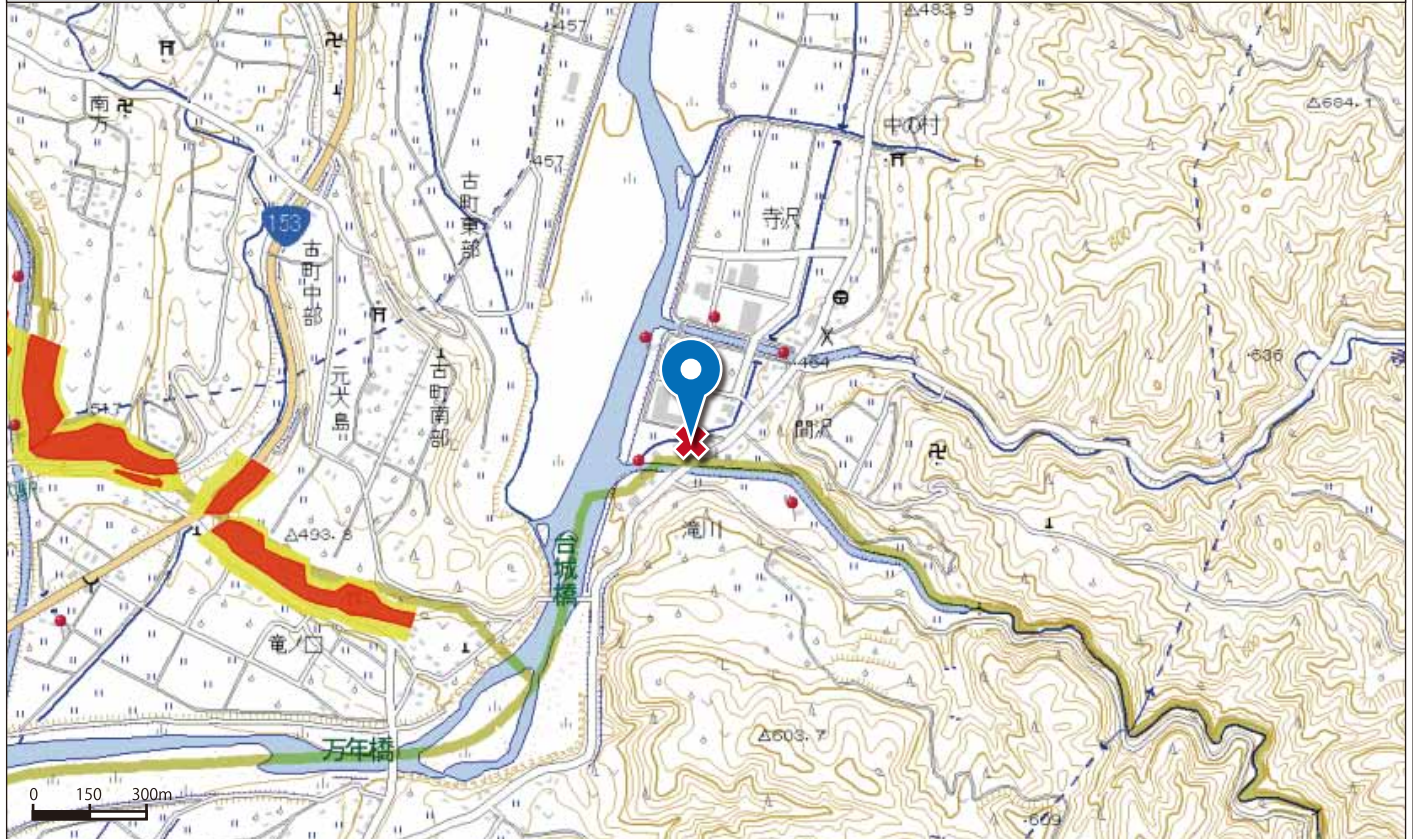
No.	14-4-1	場所	松川町	緯度	35.578522
-----	--------	----	-----	----	-----------

名称	間沢川が押し出した土砂	経度	137.921733
----	-------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---